

培遠中 第2学年  
**共に**  
 2017年(平成29年)7月6日



期末試験、お疲れさまでした

“やっぱり、ちがう…”  
 そのように思いました。普段、授業開始のチャイムに遅れがちなAさん。チャイムが鳴る前に席に着き、準備していました。  
 「Aさん、偉いなあ。(テストを)やる気じゃなあ」と声をかけると、「やっぱり?」と、うれしそうな笑みを浮かべ、さらに「テストじゃけえなあ」と付け足しました。その表情からは、勉強した跡もうかがえます。

「昨日はテスト勉強と提出物(をするので)大変じゃった。疲れた～」と言っていたTくん。しかし、テストが始まると、勉強したことを確かめるようにせつせとテストの問題に取り組んでいました。

「あ～なんだったかなあ…」というように、テスト中にふっと顔を上げたRさん。目が合うと、ニコッとしました。そこに、がんばって勉強している人の自信ある表情を感じました。

2年生が始まったばかりの4月。2年生になって初の定期テスト(中間テスト)があった5月。そして、今回の期末テスト。みなさんのテストを受ける態度、表情から、“そうはいつでも自分なりにがんばらなければ”というやる気がだんだん出てきている、と感じました。それと共に、思春期まっただ中でなんとなく中途半端な言動をしがちで、自分を十分にコントロールできない(自分を持て余している)2年生なりに落ち着きとがんばりが出てきたようにも思われます。人間は悩みながら成長していく…と言われますが、培遠中2年生の一人ひとりが現在進行で成長している姿を見えています。これからさらに成長していくことを願ってやみません。期末テストが終わり、ちょっとした解放感もあるでしょうが、それをゆとりゆとりに換えて部活や1学期の締めくくり(まとめ)の時間に使いたいものです。

“マナー講座から学んだこと”

。チャレンジウィークでは、一日の生活や態度をよく見られると思うので、毎日の授業や日頃の行いを意識していきたいです。僕は最初、自分では直せないところがたくさんありました。でも、友達が「やらないと損するぞ」と言ってくれたおかげ

7月の行事予定



日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3 あいさつ運動	4 あいさつ運動	5 あいさつ運動	6 部活なし あいさつ運動	7 あいさつ運動	8
9	10 部活なし CW事業所訪問	11	12	13 教室ワックス	14 廊下ワックス	15
16	17 海の日休業日	18	19	20 部活なし 終業式	21 期末懇談	22
23	24 期末懇談	25	26 期末懇談	27 期末懇談	28 オープンスクール	29 南吉田夏祭り (ソーラン隊)
7/30 P資源回収 多くの参加を	7/31					

\* CW : チャレンジウィーク

☆★ 8月の予定 ☆★

。8月の登校日 8月18日(金) 8月28日(月) 8月29日(火)

。CW : チャレンジウィーク 8月21日(月)~25日(金)

\*それぞれの日程については、別途にお知らせします。

で、今は、授業に積極的に参加できるようになりました。

僕は、授業がそこまで必要なと思っていました。でも、勉強ができていないと人を救うことや人を手伝えることもできないと、マナー講座を聞いてとても理解しました。今できていること以外にもっと自分でできるようなことを探してチャレンジウィークに行きたいです。

(21R Hくん)

。敬語や丁寧語、謙譲語を使い分けて正しく使いたいです。人は出会って3秒で人間が決めつけられるから、身だしなみや見た目、姿勢などに気をつけたいです。礼の仕方も、時や場所に応じて使い分けたいです。他人に不快な思いをさせないように礼儀やマナーを守って自分のことだけでなく、他人のことを考えて行動していきたいです。あいさつも大きな声でしていきたいです。

(21R Hさん)





。僕がチャレンジウィーク(職場体験)で活かしていきたいと思っていることは、まずは礼儀です。礼儀は、日本人にとってはとっても大切なので、礼儀はつねに心がけたいと思います。

次は敬語です。敬語を使えないと周りの人や年上の人によくない印象をあたえてしまうので、敬語をしっかりと使っていきたいと思います。

最後は、「いや」という気持ちを持たないことです。なぜなら、僕たちが生活できるということは、親(お父さん、お母さん)が働いてくれているからです。そのことに感謝して、チャレンジウィークで「いや」という気持ちを持たないようにしていきたいです。(22R Tくん)

。私は、今日のお話を聞いて、特に大切だと思ったことは、世界中のいろんな人のためにも、私たちは一生懸命頑張っていきたいと思いました。特に私は、今日、先生もおっしゃっていたけど、勉強を一番頑張りたいと思いました。勉強を、今からしっかりやって、世界中の困っている人たちを助けたいと思いました。今日のお話を聞いて印象に残っていることは、学校に行けないでずっと働いている人たちや教科書などがなくて、勉強したくてもできない人たちがいるということです。とても大変な思いやつらい思いをしているんだなと思いました。私は、今日のお話を聞いて、以上のことが一番大切なことだと思い、また印象に残ったことです。(22R Nさん)

。自分が使っている物や食べ物は、僕の知らないところでたくさんの人が一生懸命に頑張って、みんなのために作ったりしていることが、とても印象に残りました。これからは、作ってくれた人などに感謝しようと思いました。(23R Kくん)

。自分たちが普通に思っている物は、陰でだれかがつらい思いをして、頑張って作った物だということです。今回の例で、ガーナのカカオ豆を使ったチョコレートの話を聞きました。日本では今、スーパーやコンビニなど、お店に行けばチョコレートは手軽に買えます。ですが、その材料となるカカオが作られるのに、かなり若い労力が使われていることが印象に残りました。(23R Rさん)



。見た目が大事だとわかりました。まずは服装から、いつも通り心がけていきたいです。また、あいさつも大切にしたいです。陰ではたらいている人がどんなことをしているのかを知られるチャンスなので、それを知ってもっと感謝の気持ちを持ちたいです。(24R Mくん)

。私たちが100円くらいで買えるチョコレート。その裏では学校に行きたくてもいけない、勉強したくてもできない小さな子どもたちが一生懸命木に登ったりしてカカオをとっている聞いた。それと同じように、私が使っている全ての物、シャーペンや消しゴムなど、それは裏で努力している人がいるからこそある物なんだということが分かった。だから、いつも相手の立場に立って、どんな気持ちであるかを考えられるように、自分だけではなく、多くの方々の支えがあって今を生きていることを忘れないようにしたい。シャーペンはボロボロになるまで、消しゴムは小さくなるまで…。このように、今、自分にできる精一杯のことをしていきたい。(24R Yさん)

### 福山・培遠から日本、世界を見る

培遠中生徒の多くが、「(培遠中のある)地域は好きだし、住みやすい」と思っているようです。だから、地域のボランティア活動にも力が入るのかもしれない。

文科省は、グローバルな視点で物事を考え、そのような生き方をできる力の定着を目指し、そのためにも英語教育に力を入れるという方針を示しています。その点では、培遠中地域に暮らし、しかし、視野は広く日本や世界を俯瞰できる考えを持ち、生活していければ最高なのかもしれません。そこで、2つの話題を。



。みなさんと同じ中学生の藤井聡太4段について、連日のようにテレビや新聞で取り上げられています。史上最年少で将棋のプロになった藤井4段ですが、プロになってから、公式戦29連勝という、これまでの記録を30年ぶりに更新した新記録を打ち立てました。藤井4段の素晴らしさは、自分に優るとも劣らない手強い対局者からも学び、さらに自身の創意工夫も加味して、現在進行で強く進化していることです。この点で、藤井4段とは次元が異なるでしょうが、私たちも周りの人やもの・ことから学びつづけ、自分でも創造しながら成長していきたいものです。

。一方、世界では。今、国連で、核兵器禁止条約の採決に向けて、熱心な会議(第2会期6月15日~7月7日)がもたれています。知っていましたか。3月末の第1会期では、世界115カ国の政府代表と220の市民団体(NPOなど)が参加して、これからの条件・土台づくりが話し合われました。そして、今会期の7月7日には、いよいよ人類の滅亡につながりかねない核兵器の製造、保有、持ち込み、使用が禁止される核兵器禁止条約が採決される公算が高いようです。広島市の松井市長は今回の国連会議で、ヒバクシャの心に寄り添い、核兵器廃絶を展望するような発言をして参加者を始め世界から高い評価を得たようです。ただ、唯一の被爆国である日本政府は「核保有国と非核保有国の溝を埋められるように…」という理由でこの会議へは参加していません。核兵器禁止・廃絶は、世界の平和に関わることです。私たちも無関心であってははいけません。世界(人類)の平和のために、私たちはこれから、どのように考え、そして、行動すればいいのか。そのためにも、しっかりと学習して考える力をつけたいものです。